

新周南新聞社からの取材と記事

大阪・関西万博で開催される「障害者の文化芸術国際フェスティバル」に檜原遥佳さん（鼓澄苑通所「はっぴい」利用者）の作品が展示されることが記事になりました。

檜原さんは、インタビュー中も終始笑顔で、大変嬉しそうでした。



2025年(令和7年) 9月1日(日)
 第19991号

日刊新周南

THE DAILY NEW SHUNAN

発行所/新周南新聞社
 〒745-0902 徳島市東郷二丁目1035-18
 電話/0834-26-5303 FAX/0834-26-0155
 購読料/3,300円/月(4回払)3,960円/3ヶ月
 ホームページ http://www.shinshunan.co.jp/
 Eメール shinshunan@shinshunan.co.jp

5点の中に檜原さんの作品

関西万博の障害者のフェスティバル

周南市の鼓ヶ浦整肢 作品初めて見た人形 徳島県フェスティバル 関西フェスティバルは 学業の障害者支援施設 が10月8日(水)から10 に展示されることが決 一般社団法人全国手を 鼓澄苑 藤井勝徳助 日公迄まで 関西万博 まった 関西万博の公式 つなぐ 育成会連合会が 辺はっぴいに通所す びとボールで開が キラタターミナタミ 文化庁、日本芸術文化 檜原遥佳さんのこの れる、障害者の文化芸 ヲクを描いた。

「素晴らしい」と話す。

今回の作品は同フェスティバルに応募するため、ミヤクミヤクのぬいぐるみや絵を思ながら描いたもの。持ちやすいうように補助輪を付けて太くした筆を使い、赤と青の絵具でミヤクミヤクを描いた。

同フェスティバルで展示されるのは、全国から募集した作品のうち5点のみ。同祭では早速ホームページに作品を掲載するなど盛り上がりがある。

て実施する事業。石見 苑は自宅ではできない 神楽やダンスパフォー マンスなどがあり、 障害当事者が確かな 表現者として出演す る。

檜原さんは肢体不自由の障害があり、生活には車いすを使用。周南総合支援学校を卒業したあと、週1回、鼓澄苑に通所している。同

「素晴らしい」と話す。

今回の作品は同フェスティバルに応募するため、ミヤクミヤクのぬいぐるみや絵を思ながら描いたもの。持ちやすいうように補助輪を付けて太くした筆を使い、赤と青の絵具でミヤクミヤクを描いた。

同フェスティバルで展示されるのは、全国から募集した作品のうち5点のみ。同祭では早速ホームページに作品を掲載するなど盛り上がりがある。



檜原さん



檜原さんの作品